

事業体（団体）名	公益社団法人 日本水道協会
----------	---------------

事業名称	JICA課題別研修「上水道施設技術総合：水道基本計画設計(A)」
実施期間	2021年11月4日～11月18日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>水道建設計画の策定技能の習得を中心に、水道施設や水道事業の運営に指導的役割を果たす技術者を養成することを目的とした集団研修。</p> <p>開発途上国の中堅水道技術者を対象とし、約2か月間にわたり水道技術全般に関する講義、視察、演習を行う。今年度で<b>54回目</b>を迎える歴史の長い研修で、これまで<b>100を超える国と地域から653名</b>の研修員を受け入れている。</p> <p>本年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、約2週間のオンライン研修とした。内容も無収水対策を柱として、集中的に講義やディスカッション、プレゼンテーション、Web配信による工場見学を行った。また、「オブザーバー参加制度」を独自に実施しており、首都圏近郊の水道事業体に在職する若手職員を対象に、国際交流の場を提供している。本年度は、東京都・横浜市・川崎市・神奈川県企業庁・さいたま市からの参加があった。</p> <p>主な研修プログラムは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の水道の歴史</li> <li>・漏水防止対策</li> <li>・配水用ポリエチレン管工場視察（web配信）</li> <li>・カンントリーレポート発表</li> <li>・有収率向上のための取り組み</li> <li>・健全な水道事業経営</li> </ul> <p>【参照】 <a href="http://www.jwwa.or.jp/jigyoku/kaigai_03.html">http://www.jwwa.or.jp/jigyoku/kaigai_03.html</a></p>
対象（相手）国・機関名	カンボジア、マーシャル、ペルー、レバノン、東ティモール、ルワンダ、ラオス (研修員計11名、オブザーバー2名)

